



2019年9月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年8月8日

上場会社名 株式会社サカイホールディングス
 コード番号 9446 URL <http://sakai-holdings.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 肥田 貴將

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 田川 正彦

TEL 052-262-4499

四半期報告書提出予定日 2019年8月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年9月期第3四半期の連結業績(2018年10月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年9月期第3四半期	12,418	15.3	573	22.8	457	28.6	271	32.5
2018年9月期第3四半期	14,658	6.3	742	18.1	640	3.4	402	10.6

(注) 包括利益 2019年9月期第3四半期 82百万円 (74.4%) 2018年9月期第3四半期 321百万円 (35.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年9月期第3四半期	26.23	25.79
2018年9月期第3四半期	36.91	36.14

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年9月期第3四半期	26,219	3,139	10.7
2018年9月期	26,130	4,225	14.8

(参考) 自己資本 2019年9月期第3四半期 2,795百万円 2018年9月期 3,872百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年9月期		11.50		13.50	25.00
2019年9月期		12.50			
2019年9月期(予想)				12.50	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年9月期の連結業績予想(2018年10月1日～2019年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,576	12.0	875	0.9	698	3.3	380	8.3	35.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年9月期3Q	10,956,500 株	2018年9月期	10,956,500 株
期末自己株式数	2019年9月期3Q	701,628 株	2018年9月期	57,828 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年9月期3Q	10,353,509 株	2018年9月期3Q	10,896,490 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間は、消費関連で顕著な動きはなく、企業業績については業種により若干の温度差はあるものの、概ね堅調に推移してまいりました。

このような経済環境のもとで、当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高は12,418百万円（前年同四半期比15.3%減）、営業利益は573百万円（前年同四半期比22.8%減）、経常利益は457百万円（前年同四半期比28.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は271百万円（前年同四半期比32.5%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①再生可能エネルギー事業

再生可能エネルギー事業につきましては、2017年9月に和歌山県和歌山市に「エスケーアイ和歌山発電所」を開設以降、当期6月には熊本県八代市および三重県伊賀市に太陽光発電所を新設しており、現在9発電所（内1ヶ所は子会社のエスケーアイ開発株式会社が運営）が順調に稼働する一方で、新設予定の東広島の大型プロジェクトについても第4四半期中の完成に向け順調に推進しておりますが、通期では結果的に先行投資となっている他、梅雨時以降の日照時間の減少が継続したため、売電金額にも影響がありました。この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は1,212百万円（前年同四半期比3.1%増）、営業利益は560百万円（前年同四半期比2.1%減）となりました。

②移動体通信機器販売関連事業

移動体通信機器販売関連事業につきましては、2019年3月末現在で携帯電話の普及台数が17,536万台を超え、スマートフォン（iPhone X）を中心とする新機種が2018年10月迄に発売され、各移動体通信事業者とも今期以降の業界の動向に注視し、積極的な販売競争を展開しましたが、端末価格の高騰化と使用期間が長期化した影響から市場環境は厳しく販売台数は減少いたしました。当社は引続き各店舗の動向を詳細に検証し顧客満足度の向上と総合力アップを図りながら販売促進に努めております。この結果、当第3四半期連結累計期間における移動体通信機器の販売台数は、新規・機種変更を合わせ78,264台（前年同四半期比26.9%減）となりましたが、積極的な営業施策を展開し、顧客満足度の向上と各店舗の総合力を向上した結果、売上高は9,858百万円（前年同四半期比17.9%減）でしたが、営業利益は482百万円（前年同四半期比19.6%増）となりました。

③保険代理店事業

コールセンターを拠点とした保険代理店事業につきましては、子会社である株式会社セントラルパートナーズにおいて、2014年4月に開設した新潟支店の業績も順調に推移しており、更に販売力と一人あたりの生産性の向上に繋げるほか、リスク分散も考慮し複数の保険会社の商品の取扱を継続しております。保険会社のインセンティブ体系が変更となった影響も営業施策の転換により改善しており、その成果が業績に表れ始めました。この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は795百万円（前年同四半期比12.8%減）、営業利益は1百万円（前年同四半期比98.8%減）となりました。

④葬祭事業

葬祭事業につきましては、子会社であるエスケーアイマネジメント株式会社において、2010年7月に葬儀会館「ティア西尾」をオープン以降当期6月に愛知県幸田町に新会館を開設して現在6会館を運営しており、顧客満足度の更なる向上と今後の需要を見据えた積極的な営業活動を継続し会員の増加にも努めております。この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は502百万円（前年同四半期比2.9%減）、営業利益は20百万円（前年同四半期比56.8%減）となりました。

⑤不動産賃貸・管理事業

不動産賃貸・管理事業につきましては、子会社であるエスケーアイ開発株式会社で2007年8月に大型立体駐車場「エスケーアイパーク法王町」を名古屋市千種区にオープン後、稼働率が順調に推移しております。この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は49百万円（前年同四半期比7.9%増）、営業利益は19百万円（前年同四半期比54.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は26,219百万円となり、前連結会計年度末の資産合計26,130百万円と比べ88百万円増加しました。これは主に、現金及び預金が1,156百万円、投資その他の資産が108百万円減少した一方で、有形固定資産が1,022百万円、無形固定資産が328百万円増加したことなどによるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は23,079百万円となり、前連結会計年度末の負債合計21,904百万円と比べ1,175百万円増加しました。これは主に、短期借入金が769百万円、1年内返済予定の長期借入金301百万円、長期借入金814百万円増加した一方で、買掛金が344百万円、未払法人税等が132百万円、社債が250百万円減少したことなどによるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は3,139百万円となり、前連結会計年度末の純資産合計4,225百万円と比べ1,086百万円減少しました。これは主に、自己株式が858百万円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年9月期の業績予想につきましては、第3四半期の業績は2019年5月13日付のお知らせで公表しました修正金額に向け順調に進捗しておりますが、日照時間の減少による、第4四半期の太陽光発電の売電額・利益が懸念されるものの、各子会社の業績は堅調であるため、通期の計画（2019年5月13日付のお知らせで公表）を変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,690,584	4,534,336
売掛金	2,622,740	2,482,611
商品	803,021	883,366
その他	146,492	208,466
流動資産合計	9,262,839	8,108,781
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,973,145	2,124,724
機械装置及び運搬具（純額）	7,214,379	7,261,410
土地	2,927,758	3,110,820
建設仮勘定	2,322,300	2,953,249
その他（純額）	60,705	70,598
有形固定資産合計	14,498,288	15,520,801
無形固定資産		
のれん	180,568	522,176
その他	476,781	463,635
無形固定資産合計	657,349	985,812
投資その他の資産		
その他	1,712,234	1,612,263
貸倒引当金	—	△8,208
投資その他の資産合計	1,712,234	1,604,055
固定資産合計	16,867,873	18,110,669
資産合計	26,130,712	26,219,451
負債の部		
流動負債		
買掛金	995,070	650,932
短期借入金	3,882,336	4,651,900
1年内償還予定の社債	500,000	500,000
1年内返済予定の長期借入金	843,635	1,145,164
未払法人税等	204,653	72,279
賞与引当金	130,451	72,122
役員賞与引当金	63,000	47,025
その他	718,904	722,800
流動負債合計	7,338,051	7,862,223
固定負債		
社債	1,240,000	990,000
長期借入金	12,228,150	13,042,792
繰延税金負債	489,264	407,475
役員退職慰労引当金	115,300	131,600
退職給付に係る負債	103,320	114,051
資産除去債務	269,184	275,183
その他	121,605	256,593
固定負債合計	14,566,824	15,217,694
負債合計	21,904,876	23,079,918

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	747,419	747,419
資本剰余金	684,918	684,918
利益剰余金	2,132,029	2,101,324
自己株式	△39,909	△898,699
株主資本合計	3,524,457	2,634,963
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	410,313	316,244
繰延ヘッジ損益	△61,884	△155,749
その他の包括利益累計額合計	348,428	160,495
新株予約権	11,287	9,667
非支配株主持分	341,662	334,406
純資産合計	4,225,836	3,139,532
負債純資産合計	26,130,712	26,219,451

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2017年10月1日 至 2018年6月30日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2018年10月1日 至 2019年6月30日）
売上高	14,658,766	12,418,895
売上原価	10,450,795	8,251,136
売上総利益	4,207,971	4,167,759
販売費及び一般管理費	3,465,523	3,594,563
営業利益	742,447	573,195
営業外収益		
受取利息	22	76
受取配当金	23,528	26,406
受取保険金	8,801	8,769
設備補助金収入	21,903	8,149
営業支援金収入	—	18,600
その他	15,666	23,842
営業外収益合計	69,922	85,844
営業外費用		
支払利息	111,280	134,181
融資手数料	29,784	30,956
為替差損	12,134	4
その他	18,847	36,580
営業外費用合計	172,047	201,722
経常利益	640,323	457,317
特別利益		
固定資産売却益	—	5,132
特別利益合計	—	5,132
特別損失		
固定資産除却損	4,995	10,117
減損損失	—	26,084
特別損失合計	4,995	36,202
税金等調整前四半期純利益	635,327	426,247
法人税等	209,521	156,031
四半期純利益	425,805	270,215
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失（△）	23,657	△1,361
親会社株主に帰属する四半期純利益	402,148	271,577

（四半期連結包括利益計算書）
 （第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2017年10月1日 至 2018年6月30日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2018年10月1日 至 2019年6月30日）
四半期純利益	425,805	270,215
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△58,985	△93,977
繰延ヘッジ損益	△45,234	△93,865
その他の包括利益合計	△104,219	△187,842
四半期包括利益	321,586	82,373
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	298,097	83,644
非支配株主に係る四半期包括利益	23,489	△1,271

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2018年9月25日開催の取締役会決議に基づき、公開買付けにより自己株式684,300株を取得しております。

この自己株式の取得等により、当第3四半期連結累計期間において自己株式が858,789千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が898,699千円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 2018年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2017年10月1日 至 2018年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	再生可能 エネルギー 事業	移動体通信 機器販売 関連事業	保険 代理店 事業	葬祭事業	不動産 賃貸・ 管理事業	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	1,175,661	12,007,512	912,044	517,312	46,236	14,658,766	—	14,658,766
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	14,188	14,188	△14,188	—
計	1,175,661	12,007,512	912,044	517,312	60,424	14,672,955	△14,188	14,658,766
セグメント利益	572,667	403,893	107,634	46,988	12,703	1,143,886	△401,438	742,447

(注) 1. セグメント利益の調整額△401,438千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△405,958千円及び、その他の調整額4,519千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2018年10月1日 至 2019年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	再生可能 エネルギー 事業	移動体通信 機器販売 関連事業	保険 代理店 事業	葬祭事業	不動産 賃貸・ 管理事業	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	1,212,399	9,858,521	795,686	502,376	49,912	12,418,895	—	12,418,895
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	15,538	15,538	△15,538	—
計	1,212,399	9,858,521	795,686	502,376	65,450	12,434,434	△15,538	12,418,895
セグメント利益	560,536	482,977	1,241	20,287	19,669	1,084,711	△511,515	573,195

(注) 1. セグメント利益の調整額△511,515千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△512,931千円及び、その他の調整額1,415千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

「移動体通信機器販売関連事業」セグメントにおいて、26,084千円の固定資産の減損損失を計上しております。

（のれんの金額の重要な変動）

「再生可能エネルギー事業」セグメントにおいて、熊本県八代市の太陽光発電設備及び三重県伊賀市の土地購入に伴い売電の権利を譲受けたことにより、のれんの金額に重要な変動が生じております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、第3四半期連結累計期間においては341百万円であります。